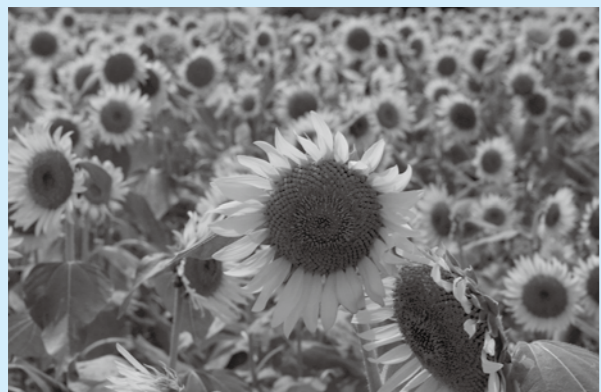


●市内のひまわり畑

儀長・祖父江地区のひまわり畑が見頃を迎え、見物客は写真を撮るなど一面に咲き誇るひまわりを楽しみました。



▲高さ2mのやぐらからひまわり畑を一望♪

みんなのひろば

●「スライムをつくろう！」教室

平和町農村環境改善センターで開催され、参加した親子は好きな色を付けたオリジナルのスライム作りに夢中で取り組みました。



▲完成したスライムの不思議な触り心地にびっくり！

●活動の苦労
活動を始めた頃は、子育ての大変さや育児仲間をつくることの大切さに、地域からの理解はまだ十分ではなかったと思います。

●子育て支援活動のきっかけ
子どもが1歳のとき、夫の転勤で稲沢市へ引っ越してきました。知り合いの居ない地で、育児仲間や子育てを楽しむ場所を探しましたが、なかなか見つけることができませんでした。人と会話することのない、孤立育児に悩む日々が続きました。

そんな中、転居前の友人からのアドバイスもあり、育児仲間をつくるため、公園で子どもと遊ぶママに声を掛けて育児サークルを立ち上げたことが活動の始まりです。

最初は10人程だった参加者は次第に増え、私のような悩みを持つママの多さを知りました。現在も、子育てネットワーカーとして、遊びやおしゃべりを通して育児仲間を見付ける場づくりに取り組んでいます。

活動が始めた頃は、子育ての大変さや育児仲間をつくることの大切さに、地域からの理解はまだ十分ではなかったと思います。

稲沢マザーリングの会では、働くパパ・ママにも参加してもらえよう、日曜日に「親子リトミックとひろば」を開催します(15頁参照)。

●今後の活動
育児の大変さは今も昔も変わりませんが、共働き世帯の増加から家庭での負担は増えているように感じます。また、新型コロナウイルス感染拡大が子育てに与える影響も非常に心配です。

また、子育てをしながら、将来的に仕事をするための勉強をすることは、非常に多くのエネルギーが必要でした。そこで当時は、ママ同士が子どもを預かり合うなどしている工夫をし、困り事はみんなで考え、解決していきましました。このような経験が、一人一人の成長につながったと思うのです。

笑顔で話そう



さだゆきかおり 定行加保里 (小沢二丁目在住)

皆さんが日々感じていることを語っていただく「笑顔で話そう」。今回は、子育てサポートネットや稲沢マザーリングの会で代表を務め、子育て支援の活動を精力的に行う定行加保里さんです。



消費生活センター からのお知らせ 市役所商工観光課

トラブルを未然に防ごう 「保険を使った住宅修理」の契約を迫る業者に注意！ 「保険で住宅修理できる」と言われたら、消費生活センターに相談してください。

●事例
・業者が「無料で屋根を点検します」と訪問してきた。点検後に「修理が必要。損害保険を使って自己負担なしで修理ができる」と言われたので契約したが、保険金は少額しか支払われず、自己負担の必要があることが分かった。修理のキャンセルを申し出ると解約料を請求された
・業者から「台風で壊れた屋根を保険金で修理できる」と言われたので契約した。保険金を業者に支払ったが、いつまでたっても修理が行われない

●アドバイス
・契約前に、加入している損害保険会社に契約内容を確認しましょう
・訪問販売による契約は、契約書などを受け取った日から8日以内であればクーリング・オフできます

市役所消費生活センター ☎0587(32)2594
受け付け 月～金曜日 ※祝休日を除く
午前10時～正午・午後1時～3時

ケーブルテレビの稲沢市広報番組 いなざわふれあい通信

市の施設や計画、行事、祭り・イベントなどを映像でお伝える市政広報番組「いなざわふれあい通信」を、稲沢CATV(TOP TOWER)と西尾張CATV(クローバーTV)で放送しています。

- ◆10月1日～15日の放送内容 「手話で話そう」
- ◆10月16日～31日の放送内容 「おでかけタクシー」
- 放送開始時間(10分番組)
稲沢CATV…6:50、9:50、10:50、11:50、14:50、17:50、20:50、21:50
西尾張CATV…8:45、14:15、17:45、20:45

▷番組のDVDを市役所秘書広報課、支所で貸し出しています
▷放送期間中の内容は、市ホームページからも、視聴できます

ここから視聴できます！



警察署からののお知らせ 稲沢警察署 ☎0587(32)0110

「交通安全川柳大会 in いなざわ」を開催！

昨今、社会問題となっている「あおり運転」や運転中のスマートフォン使用などの「ながら運転」をテーマにした川柳を募集します。



【応募方法】
●はがき、FAXの場合
作品、住所、氏名(ふりがな)、ペンネーム、電話番号、年齢を記載してください。
・〒492-8268 稲沢市朝府町15-5 稲沢交通安全協会「交通安全川柳大会」係
・FAX 0587(24)3422

●WEBの場合
下図から専用サイトにアクセスし、ご応募ください。



俳句 安田一子 選

- 【特選】
刈田後麦時く頃かわが故郷は 柿むきていよよ本番空広し (北島町) 内笹井幸子
- 【入選】
山裾の刈田を染めて夕日入る (駅前二丁目) 山内敏子
下校子の列に刈田の匂ひかな (北島町) 熊谷有史
ひろびろと刈田を駆ける小犬かな (祖父江町山崎) 吉田恵子
千枚の能登の刈田を眺めたり (祖父江町江東) 大野桂子
柿剥きが今を遅しと孫の顔 (儀長三丁目) 中野武一
背屈めて柿むく母の小さき (長野一丁目) 坂井清寿
柿むきてマンション二階二・三簾 (日下部北町) 近藤とし江
仏壇の御下がり一つ柿をむく (北島町) 愛葉行徳
- 評
内笹井さん：故郷を想う気持ちがしみじみと伝わってくる。竹村さん：干されるばかりとなった柿と空が大変力強い。

●募集します(俳句) ▶兼題(12月号) 初稿、ふくら雀 ▶締切日 10月15日(木) ▶応募方法 住所・氏名を記入の上、市役所秘書広報課(〒492-8269 稲沢市朝府町1)へ ※兼題1つに2句まで。FAX(0587(23)1489)、Eメール(haiku@city.inazawa.aichi.jp)でも受け付けます